

デザイン支援



有限会社
アシスト実務工房

良いものを残し、
広めていくための
さまざまな取組を行う。



商品をきっかけに、秋田や岩崎へ
遊びに来てもらえるような
商品を作りたい。

岩崎という場所の魅力を残し、広める取組

平成16年に創業した有限会社アシスト実務工房。住宅雑誌『住まいの提案秋田』などの出版や、インテリアショップ&カフェ『momotose』の運営などを展開している。代表の沓澤さんに、事業への想いを伺った。

「カフェとして活用した建物は、もともと内蔵のある古民家でした。所在地である湯沢市岩崎は昔から発酵文化が盛んな地域で、今も味噌・醤油の醸造蔵があります。その場所の佇まいや文化を残すため、平成26年にリノベーションし、カフェとして活用することにしました。ランチには地元の発酵食品を使った料理を提供しています。令和2年には同じ岩崎の使われなくなった建物を、当時の面影をできるだけそのまま残せるようにリノベーションし、一棟貸しの宿泊施設を始めました」。

沓澤さんは、「暮らすように旅をする」というスタイルを提案しながら、岩崎が持つ文化の素晴らしさを感じてもらいたいと考えている。

岩崎の魅力を詰め込んだ、大豆発酵食品を開発

令和3年に同社は新たな事業として豆腐の製造をスタート。事業再構築補助金を活用し、かつて倉庫として使われていた建物の中に加工場を設けた。一般的な豆腐とは異なり、豆腐を発酵させて調味した商品だ。調味料には地元・石孫本店の醤油や塩麴を使用している。『TOU』というこの商品は、発酵させることにより、消化吸収がしやすく、胃腸への負担を減らせるという特徴がある。

「質の良い発酵調味料を使うので、それに見合う豆腐を作りたいと思い、昨年から大豆の生産を始めました」。

販路開拓のため、展示会へも参加。展示会では商品に適した売り方を見つめ直す機会となったと振り返る。活性化センターの知財・デザイン支援課から情報を提供してもらい、今後も出展を行う予定だ。

沓澤さんは「商品を通じて、岩崎の歴史と発酵文化の素晴らしさを広めたいですね。結果として岩崎へ足を運ぶきっかけになれば」と想いを語ってくれた。



くつざわ ゆうこ

代表 沓澤 優子(写真中央)

広報製造補助 柴田 百架(写真左)

製造責任者 藤谷 奈緒(写真右)

有限会社 アシスト実務工房
〒012-0801
湯沢市岩崎字岩崎160
TEL:0183-55-8839
<https://toutou.jp/>



HP

▶活用事例
デザイン支援

産業デザイン、製品開発、マーケティング等についての専門的な助言や、デザイナーとのマッチングを支援します。

【お問い合わせ】
知財・デザイン支援課
TEL. 018-860-5614



かつてJAの倉庫として使われていた建物を改装して、スタイリッシュな加工場に。



大豆を洗って浸漬させ、蒸してから潰し、にがりを加えて豆腐を作る。



加工場付近にあるインテリアショップ&カフェ『momotose』。温かみのある素材で作られた空間だ。